

大腸がんの早期発見・予後改善における便潜血検査の有用性に関する研究

1. 研究の対象

2011年4月以降に当院で 大腸癌の診断、治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

大腸がんの罹患率は本邦で増加しており、その予防と早期発見は、重要視されている。また、大腸がんについては便潜血検査を受けることによる早期発見および予後の改善が証明されている。

当院で大腸がんの診断および治療を行われた症例について、大腸がんの予後改善における便潜血検査の有用性を過去の診療記録より検証し、地域住民への便潜血検査の重要性を周知する材料としたい。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：便潜血検査受診状況、病歴、がん登録データ（病期、生存期間、治療法等）、病理診断レポート 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：静岡県磐田市大久保 512-3

電話：0538-38-5000

担当者の所属・氏名：磐田市立総合病院・山田貴教（研究）